

中学校 国語・1年生

単元名 「新書ブックフェア ～要約を通して新しい知の扉を開こう～」

この授業改善案は、全国学力・学習状況調査の問題を基に、「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムの過程に対応させて作成しました。

大問2「読むこと（説明的な文章）」では「要約」が取り上げられています。「精査・解釈」の資質・能力として重要な「要約」について考えてみましょう。

学習指導要領における内容

【第1学年】思考力、判断力、表現力等 C(1)ウ

- 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。

要点・要約・要旨の違いは？

要約は「読むこと」の活動であることを押さえましょう。



要点 文章の重要な箇所。中学校学習指導要領解説では「キーワード」「キーセンテンス」等の表現が用いられている。

要旨 文章で取り上げている内容の中心となる事柄や書き手の考えの中心となる事柄。

要約 概略を理解するために文章全体の内容を短くまとめたり、情報を他者に伝えるために必要な部分を取り出してまとめたりすること。目的や必要に応じて内容や分量、方法が異なる。

要点・要約・要旨

	小学校学習指導要領	中学校学習指導要領	高等学校学習指導要領
要 点			P99 ・一続きの文章のみではない。 ・箇条書きや図表などを含む実用的な文章 → 内容の中心となる事柄 を指す
要 約	P110 ・文章全体の内容を正確に把握した上で、元の記事の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章の内容を短くまとめること ・目的 … 文章の内容を端的に説明する → 内容の中心となる語や文 を選んで、 要約の分量 などを考えて要約することが重要	P69 ・文章の全体又は部分を短くまとめること ・概略を理解するため 文章全体の内容を短くまとめる ・情報を他者に伝えるため 必要な部分を取り出してまとめる ・目的や必要に応じて 内容や分量、方法が異なる。	
要 旨	P146 ・事実と感想、意見などとの関係を押さえた上で、 文章全体の構成 を捉え、要旨を把握する ・書き手が文章で取り上げている 内容の中心 となる事柄 書き手の考えの中心 となる事柄。 ・把握するため … 文章全体の構成を捉える ことが必要 文章の各部分だけを取り上げるのではなく、 全体を通してどのように構成 されているのかを正確に捉えることが重要 ・ その際 、叙述を基に、書き手が、 どのような事実を理由や事例として挙げているのか どのような感想や意見などをもっているのか などに着目して、事実と感想、意見などとの関係を押さえる	P68 ・文章で取り上げている 内容の中心 となる事柄 書き手の考えの中心 となる事柄 ・ 文章の構造 を踏まえて、 キーワードやキーセンテンス などに留意して 情報を整理し 、 正確に要旨を捉えられるようにする	P99 ・文章の 内容の中心的な事柄 書き手の考えの中心 となる事柄

見いだす

第1時

○単元のゴールへの見通しをもち、要約の目的について考える。

皆さんは新書を手に取ったことはありますか。新書は専門分野の知識を分かりやすくまとめた本です。新書の内容を要約したカードを作って、ブックフェアで友達と紹介しましょう。



○説明文を要約した二つの文章を読み比べ、それぞれの要約にはどのような目的や意図があるのかを考える。

生成AIを用いて作成した要約例を提示し、どのようなプロンプト（指示）によって生成されたのかを議論する方法も考えられます。



園池公毅『植物の形には意味がある』

要約例ア

葉の形を形容する言葉には、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループがあり、前者には多様性、後者には共通性という特徴がある。

要約例イ

この文章では、植物の葉の形について二つのグループに分けて解説をしている。「普遍性」と「多様性」を取り上げて、葉の形は多様性の宝庫であると述べられている。

アは二つのグループにはどのような特徴があるのかに着目して要約しているね。

アは、本論の部分を中心に要約していると言えるね。

イは、文章全体でどのようなことが述べられているのかを要約しているのかな。

授業改善のポイント

同じ文章でも読み手が着目した内容によって要約された文章の姿は異なってきます。無目的に要約を行うと単に文章を短くするだけの活動になってしまうため、要約した文章を活用できる言語活動を設定することが有効です。

自分で取り組む

第2時

○共通教材の説明文を読み、目的に応じて要約をする。

筆者の主張と事例の関係がわかりやすくなるように要約してみよう。

筆者の考えがとても面白いから、中心となる内容を要約してみよう。



筆者が特に伝えたい部分を取り上げて、その部分を要約してみよう。

内容の全体像を把握するために、文章全体を要約しよう。



授業改善のポイント

要約した文章を生徒同士で読み合う活動を設定しましょう。どのようなことを意識して要約をしたのかを伝え合い、その目的に応じた要約となっているかどうか意見交換することで、要約の力を向上させることにつながります。



タブレット端末上で要約を作成し、付箋機能等を用いて意見交換する方法も考えられます。複数の生徒と共有活動を行うことで、要約への意識を高めていくことにつながります。

広げ深める

第3・4時

○自分が選んだ新書について要約し、紹介カードを作る。

ゾウの時間ネズミの時間/本川達雄

「島と大陸の動物はサイズが違う!？」
島に隔離された大型動物は、世代を重ねるうちにどんどん小型化していくが、反対に小動物は島では大きくなっていく。このような変化が起こる理由の一つとして、捕食者の問題がある。大きい動物は捕食者に食われにくく、また小さい動物は捕食者の目を逃れられる。捕食者がいなければ、…。

要約した文章をカードに書いて、新書ブックフェアで紹介しましょう。これまでの学習を生かして、新書の内容について要約してみましょう。

授業改善のポイント

共通教材を通して身に付けた要約の力を活用する場面を設定しましょう。このアイデア例では、「紹介カード」という場を設定することで、要約をすること自体への目的意識や相手意識をもたせ、主体的に学習に取り組ませていきます。



まとめあげる

第5時

○新書ブックフェアを開く。／学習の振り返りをする。

ブックフェアでは紹介カードを通して様々な要約に触れることができましたね。興味が湧いた本を手にとって、紹介者がどんな目的をもってその要約をしたのか尋ねてみましょう。



この要約文を読んで、私はこの本を読んでみたいと思いました。おそらく、本の一部を取り上げていると思ったのですが、どうしてこの部分について要約したのですか。



私は、この新書の中で最も面白いと思った章を要約して、みんなにも読んでもらいたいと思いました。私の要約文では、結論部分はあえて伏せていて、読み手に「もっと知りたい」と思ってもらえそうな部分を取り上げています。

学習の振り返り

- ・要約はただ文章を短くすればよいと思っていたけど、目的によって様々な要約の方法があることを知ることができた。
- ・友達から意見をもらったことで、自分が着目した部分をわかりやすく要約するためにはどうすればよいかを考えることができた。
- ・要約をすることで、文章の構成を捉えたり筆者の考えを正しく読み取ったりすることができた。

生徒の振り返り例

授業改善のポイント

振り返りでは、「単元を通して身に付いた資質・能力」をメタ認知させることが大切です。また、「要約活動について」「説明文を読むことについて」等、授業の目標（学習指導要領の内容）に対応した振り返りとなっているかを確認し、教師自身の授業改善へのヒントとすることも大切です。

「要約」の活動を取り入れた授業を行う上では、「要点・要旨・要約」の違いや「要約する」という活動の本質を理解することが大切です。全国学力・学習状況調査の問題がもつメッセージを受け止め、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に向けて、上記の例を参考にしてください。